

令和7年度 学校教育自己診断結果および分析

資料 1

● 実施時期 令和7年 11～12月

● 回 答 生 徒:76名(13名増) 保護者: 15名(5名増) 教職員: 15名

※昨年度:生 徒:63名 保護者: 10名 教職員: 16名

1. 生徒の自己診断結果(今年度質問項目を少し変更したため、昨年度の結果は統合したものを掲載)

○肯定率が上位の項目	肯定的意見(回答A・Bの合計)(%)	R6	R7
9	学校で地震や火災などの災害がおこった場合、どのような行動をとればよいか、具体的に知らされている。	90.5%	93.2%
4	学校生活について先生の指導には理解できる。	79.4%	92.1%
2	この学校には、他の学校にない特色がある。	93.7%	90.7%
17	個人情報についてプライバシーが守られている。	95.2%	90.7%
15	学校は、生徒の意見をよく聞いてくれる。	93.5%	90.5%
24	授業では評価の仕方や基準について事前に示されている。	95.2%	90.4%
19	人権の大切さについて学ぶ機会がある。	91.9%	89.3%
18	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	96.8%	89.3%
12	教室・特別教室・運動場などは、授業や生活がしやすいよう整備されている。	95.2%	89.3%
6	先生は、いろいろな問題を見逃さず対応してくれる。	93.7%	88.2%

※上位 10 抜粋

○肯定率が下位の項目	肯定的意見(回答A・Bの合計)(%)	R6	R7
11	授業や学校行事の中で自分が『頑張った』、『役に立った』と感じる機会がある。	新規	64.0%
1	学校へ行くのが楽しい。	76.2%	73.7%
21	授業や行事を通して、社会に必要な能力(コンピテンシー)が身につけている	新規	78.7%
27	授業や行事を通して、他の生徒や地域の人々と関わる機会がある。	77.0%	79.7%
10	学校生活の中であいさつができています。	91.9%	81.3%
3	授業を受けていて面白いと感じる。	85.7%	81.6%
25	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。	86.9%	83.8%
8	授業中は互いにルールやマナーを守り学習できる雰囲気が保たれている。	91.9%	84.2%
5	ホームルームなどで将来の進路や生き方について考える機会がある。	91.8%	84.2%
22	授業等で自分の考えをまとめたり、他の生徒と話しあったり、主体的に活動する時間がある。	76.2%	85.1%

・生徒の肯定率は全体的にやや減少したが、全体的に高位を維持している。(全体平均肯定率 90.1%→85.8%)
 上位の項目については昨年度同様90%前後を推移している。「学校生活について先生の指導には理解できる」の項目については10%以上も上昇しており、「学校は、生徒の意見をよく聞いてくれる」や「先生は、いろいろな問題を見逃さず対応してくれる」の項目も高い数値であるため、教員がさまざまな問題等に対して生徒の意見も聞きながら指導できている成果が表れていると考えられる。

・肯定率の下位の項目については、ほとんどが昨年度よりも低い肯定率を示しているが、「授業や行事を通して、他の生徒や地域の人々と関わる機会がある」と「授業等で自分の考えをまとめたり、他の生徒と話しあったり、主体的に活動する時間がある」の項目が上昇しており、今年度取り組んでいる協働学習やコンピテンシーの定着が表れていると考えられる。

・新規項目である「授業や学校行事の中で自分が『頑張った』、『役に立った』と感じる機会がある」という項目が一番肯定率が低くなっているが、生徒の自己肯定感や自己効力感を高めるような授業やホームルームなど現在改革途中ではあるので、学校全体でこの課題に取り組んでいく。また、「授業や行事を通して、社会に必要な能力(コンピテンシー)が身につけている」についても今年度より始まったプロジェクトなので肯定率が上昇するよう授業研究 PT 中心に学校全体で取り組んでいく。

2. 生徒、保護者、教職員の診断結果の比較

○学校の楽しさや授業について

- 生徒：学校へ行くのが楽しい。<73.7%>授業を受けていて面白いと感じる。<81.6%>
授業や行事を通して、社会に必要な能力(コンピテンシー)が身についている<78.7%>
- 保護者：子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。<46.7%>
子どもは、授業がわかりやすく面白いと言っている。<57.1%>
- 教職員：教員間で、相互の授業見学や授業方法等について検討などを行い、授業改善に努めている。<100%>
育てたい能力(コンピテンシー)を生徒に意識させた授業や行事を行っている。<100%>
思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている。<100%>
個に応じた観点で、生徒が主体のわかりやすい授業をつくる努力をしている。<100%>

○学校のいじめ対応や生徒指導について

- 生徒：学校生活について先生の指導には理解できる。<92.1%>
先生は、いろいろな問題を見逃さず対応してくれる。<88.2%>
先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。<87.8%>
- 保護者：学校の生徒指導の方針に理解できる。<100%>
学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。<100%>
学校は、子どもの教育について家庭と積極的に連携している。<78.6%>
- 教職員：いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており迅速に対応することができる。<100%>
様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で心がけている。<100%>
生徒指導の方針について教職員間で十分コンセンサスがとれている。<100%>

○学校の特色について

- 生徒：この学校には、他の学校にない特色がある。<90.7%>
- 保護者：この学校には、他の学校にない独自の教育活動に取り組んでいる。<100%>
- 教職員：この学校の教育活動には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。<100%>

- ・授業や楽しさについては生徒、保護者の回答と教員の回答結果にはギャップがあるが、今年度新たに取り組んでいる協働学習やコンピテンシーの取り組みの中で、人間関係に苦手意識がある生徒もいるため、満足度等が低い傾向になっているが、取り組みを続けていく中で自己効力感や自己有用感を高めながら授業改善をはかっていく。
- ・いじめ対応や生徒指導については学校の取り組みが生徒、保護者に伝わっているのではないかと考えられる。
- ・桃谷高校定時制としての独自性や特色の肯定率は生徒<90.7%>、保護者<100%>、教職員<100%>と高い数値を示しているため、今後も独自性や特色を生かしながら、コンピテンシーの定着を図り、自己肯定感や自己効力感を高める工夫をしていく必要がある。